

平成29年度(2017年度)

管理事業名	都市交流事業				総合計画の体系	第4章 個性がひかる学びと文化創造のまちづくり 第4節 多彩な文化が交流するまちづくり ほか
主な歳出 予算科目	一般会計	(款) 2	総務費	(項) 1	総務管理費	(目) 27 都市交流費
部局名	都市魅力部	予算執行所属	文化スポーツ推進室			
予算大事業名 交流事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名					

事業の目的と概要

・国内都市交流事業 ・国際交流事業 ・千里ニュータウンプラザ施設管理事業(千里ニュータウンプラザに所在する吹田市国際交流協会にかかる施設管理)

本市には国内に6つの友好都市(新潟県妙高市、福井県若狭町、滋賀県高島市、大阪府能勢町、高知県土佐町、兵庫県香美町)があります。それぞれの地域が持つ文化や歴史等の交歓を通じて、体験学習や生涯学習の機会の提供を図り、住民相互の連携コミュニティ活動の振興を図ることを目的に、交流を進めています。

また、本市の海外友好都市であるスリランカ・モラトワ市、オーストラリア・カンタベリバンクスタウン市との交流をはじめ、平成29年度に策定した「吹田市多文化共生推進指針」に基づき、吹田市国際交流協会と連携を図りながら、さまざまな事業に取り組んでいきます。

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度	成果指標の定義
国内交流事業参加者数	人	58	56	176	文化スポーツ推進室所管における国内都市交流事業において、吹田市民が友好都市を訪問した人数
国際交流事業参加者数	人	1,449	1,649	1,557	在住外国籍市民のための日本語教室への延参加者数
成果の説明	本市国内友好都市を訪問し、その地域の文化や生活・風習を体感していただき、友好都市を第2の故郷として感じていただけるよう、交流事業を実施しています。またスポーツなどを通じての市民交流も行っています。 「吹田市多文化共生推進指針」の基本的な考え方である国際化と外国籍市民にとっても住みやすいまちづくりを進めるため、日本語の習得が不十分な外国籍市民等に対して日本語教室を実施し、言語を習得するだけでなく、日本の文化や生活を学んでもらえるよう努めています。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	-	-	-	-
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	3,052	3,962	2,910	△1,052
経常収入 小計(a)	3,052	3,962	2,910	△1,052
給与関係費	10,111	13,783	12,448	△1,335
物件費	9,544	11,275	9,655	△1,620
維持補修費	-	-	-	-
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	4,750	6,525	8,198	1,673
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	1,229	1,229	1,229	-
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	790	989	1,003	14
退職手当引当金繰入額	△140	2,943	746	△2,197
支払利息	3,125	2,930	2,744	△186
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	29,408	39,673	36,022	△3,651
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△26,356	△35,711	△33,112	2,599
特別収入	-	-	-	-
特別収入 小計(d)	-	-	-	-
特別支出	-	-	-	-
特別支出 小計(e)	-	-	-	-
特別収支差額(d)-(e)=(f)	-	-	-	-
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△26,356	△35,711	△33,112	2,599
一般財源充当額	35,721	41,756	41,565	△191
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-
再計	9,365	6,045	8,453	2,408

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
給与関係費	職員人件費
物件費	妙高15周年記念バス借上料328千円 すいたEXPO2017夏会場設営機材使用料300千円 委託料(在住外国籍市民等のための日本語教室、らしのガイドブック費用ほか)7,802千円 平成28年度にアンケート調査終了のため減額となった。
負担金・補助金・交付金等	吹田市国際交流協会事業補助金8,000千円 国際交流推進事業補助金50千円 吹田市国際交流協会事業補助対象経費が増えたため増額となった。

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	3,052	3,962	2,910	△1,052
行政サービス活動支出	29,409	36,353	35,111	△1,242
行政サービス活動収支差額	△26,356	△32,392	△32,201	191
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	-	-	-	-
投資活動収支差額	-	-	-	-
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	9,364	9,364	9,364	-
財務活動収支差額	△9,364	△9,364	△9,364	-
収支差額 合計	△35,721	△41,756	△41,565	191
一般財源充当額	35,721	41,756	41,565	△191
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	内容
	[行政サービス活動収入]国際交流協会施設使用料1,500千円、千里ニュータウンプラザ維持管理経費(吹田市国際交流協会負担金)686千円 [財務活動支出]千里ニュータウンプラザ国際交流協会分に係るPFI返済債務9,364千円

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
市民一人あたりのコスト	平成27年度	367,510 人	80 円	平成30年3月31日現在の吹田市人口で算出し、市民一人あたり97円のコストがかかっています。なお、国際交流事業について、多文化共生にかかるアンケート調査委託料が前年より減少したため、一人あたりのコストが減少しました。
	平成28年度	369,522 人	107 円	
	平成29年度	370,072 人	97 円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	
	平成29年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成28年度末 A	平成29年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	10,353	10,367	14
未収金	-	-	-	地方債	-	-	-
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	989	1,003	14
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	9,364	9,364	-
事業用資産	55,607	54,378	△1,229	固定負債	142,282	132,586	△9,696
土地	-	-	-	地方債	-	-	-
建物・工作物	55,607	54,378	△1,229	長期借入金	-	-	-
リース資産	-	-	-	退職手当引当金	11,182	10,851	△331
建設仮勘定	-	-	-	リース債務	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	その他固定負債	131,099	121,735	△9,364
固定資産	-	-	-	負債の部合計	152,635	142,953	△9,682
土地	-	-	-	純資産	102,972	111,425	8,453
建物・工作物	-	-	-	重要物品	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	図書館資料	-	-	-
重要物品	-	-	-	投資その他の資産	200,000	200,000	-
図書館資料	-	-	-	出資金	200,000	200,000	-
投資その他の資産	200,000	200,000	-	長期貸付金	-	-	-
出資金	200,000	200,000	-	基金	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
基金	-	-	-	その他債権	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	資産の部合計	255,607	254,378	△1,229
その他債権	-	-	-	負債及び純資産の部合計	255,607	254,378	△1,229

Ⅲ 財務構造分析

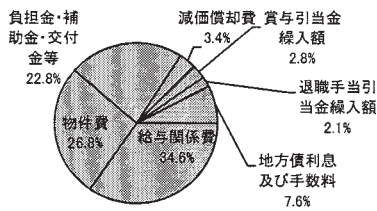
▽人にかかるコストの内訳

事業従事人数	常勤・再任用	非常勤	臨時雇用員	審議会委員等	合計(千円)
	月平均	月平均	年間従事日数	実人数	
	1.6人		79日		14,197
給与関係費等	13,518千円		678千円		
内、時間外勤務手当	330千円				

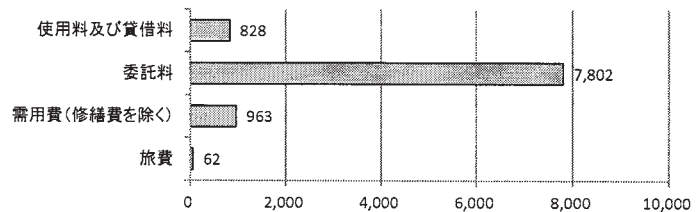
貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	千里ニュータウンプラザ国際交流協会分に係る減価償却により1,299千円の減
出資金	公益財団法人吹田市国際交流協会出資金200,000千円
その他固定負債	千里ニュータウンプラザ国際交流協会分に係るPFI返済債務により9,364千円の減

▽経常費用の構成割合



物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市国際交流協会 (千里ニュータウンプラザ内)
取得年月日	平成24年(2012年)6月30日
建物・工作物の取得価額	61,444 千円
建物・工作物の減価償却累計額	7,066 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

分析指標	年度	(単位:%)			差 B-A
		平成27年度	平成28年度 A	平成29年度 B	
施設維持補修費比率		-	-	-	-
施設老朽化比率		7.5	9.5	11.5	2.0
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		92.1	91.3	93.5	2.2
経常費用対公共資産比率		47.9	64.6	58.6	△ 6.0

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は57.0%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

【行政コスト計算書及び経常経費の構成割合】
コスト全体の26.8%を物件費が占めており、そのうち千里ニュータウンプラザ維持管理経費やくらしのガイドブックに係る委託料が80.8%を占め前年の84.4%より減少しています。

【貸借対照表】

吹田市国際交流協会が入る千里ニュータウンプラザにおいてはPFI事業において建設されているため、供用が開始された平成24年より平成43年までの20年間にわたり、土地家屋購入に生じた経費の返済債務が予定されています。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

(公財)吹田市国際交流協会が千里ニュータウンプラザ内に入っていることから、PFI事業で土地・建物を取得した経費に係る返済債務である土地家屋購入費、また維持管理に関する経費が必要となっています。その経費のうち、当該協会より施設使用料、及び維持管理費に係る負担金を徴収することにより、本市が負担すべきトータルコストの適正な管理に努めていきます。
国際交流事業については、吹田市多文化共生推進に基づく新規事業の実施も視野に入れながら、吹田市国際交流協会と連携を取り、事業を進めていきます。